

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市森崎福祉施設新築工事	階数	地上4F
建設地	横須賀市森崎1丁目6-26ほか2筆	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火無指定地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年12月21日
敷地面積	1,316 m ²	作成者	コーナン建設(株)
建築面積	734 m ²	確認日	
延床面積	2,651 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.5**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	標準工業地域ではあるが、敷地周囲の建物は住宅やアパート等が多い住宅街である。それに対し、当該建物はかなり大きな施設となる為、周囲に圧迫感や威圧感を極力与えない配慮を行う。高齢者が一日のほとんどを過ごす空間として居住室・共用部空間の充実を図る。	
Q1 室内環境	老人ホームは高齢者が生活する居住空間となるので、良質な集合住宅なみの遮音性能や採光、断熱性能を確保する。	将来的に変化するニーズに対応出来るよう、EV階段室等の37部分を除いた内壁は全て乾式とする。高齢者・身障者が利用しやすいように、段差無しはもちろんのこと、各部屋の出入口扉を全て引き戸とし、十分な開口幅、廊下幅を確保する。また居心地の良い居住室、共用空間を設ける。
Q2 サービス性能		狭い敷地ながらも、隣地境界や道路面に対して連続的な植栽、生垣を設けることで街並み景観の向上と共に周囲への圧迫感を和らげる。
Q3 室外環境(敷地内)		空調器はヒートポンプ方式とし、大型室外機は屋上に設置した。厨房換気は周囲に臭気を出さぬよう換気ファン・ダクトを屋上に設置した。
LR1 エネルギー	建物は住宅なみの断熱性能を確保し、サッシもすべてペアガラスとする。また各設備機器もコストを踏まえた上で、出来るだけ高効率なものを採用し、ほぼ全ての照明器具をLEDとする。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の設置。有害物質やフロンを含まない建材の使用。	
LR3 敷地外環境		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される